

令和6年3月

第10回 湯来地域における小中一貫教育校設置検討会議 発言要旨

【湯来西小学校と湯来東小学校の先行統合について】

※ 教育委員会教育企画課

湯来西小学校と湯来東小学校の先行統合については、明後日、3月23日（土）に湯来西小学校の閉校式を迎える。当日は、午前10時から閉校式を、11時30分頃から、湯来西小学校児童による合唱・合奏やムービーの上映などの閉校記念行事を行う。

令和6年4月1日をもって湯来西小学校と湯来東小学校は統合するが、統合に係る申入れ時に併せて要望いただいた、通学に伴う負担軽減や統合後、子どもたちが安心して学校生活を送っていただけるためのフォロー体制等についても引き続き検討を進めていく。

統合後の湯来西小学校の跡地については、グラウンド等を湯来ロッジ・湯来交流体験センター等の臨時駐車場として暫定的に利用することとなっている。跡地・跡施設の活用については、引き続き、上水内地区町内会連合会を始め、地域の皆様と協議しながら検討を進めていく。

【湯来東小学校PTAとの意見交換会（令和6年2月5日開催）について】

※ 教育委員会教育企画課

意見交換会の内容としては、まず、会議の趣旨説明として、昨年末の第9回設置検討会議において、湯来東小学校PTAから、最終的には小中一貫教育校に合流することを前提とするが、統合するタイミングについては柔軟な対応を希望するという要望をいただいたことを受け、教育委員会と湯来東小学校の関係者で協議を進めるためにこの会を開催したことを説明した。

また、統合する時期というのは、地域・保護者、さらには子どもたちにとっても、大きな話であり、一度の意見交換会だけで結論が出せるものではなく、また、こうした形式での初めての会でもあるため、まずは小中一貫教育校設置に向けたこれまでの取組と今後の見通しについて、これまでの設置検討会議で配付した資料等を示しながら説明し、最後に、意見交換を行った。

これから、小中一貫教育校が開校するまで6年程度を要することから、湯来東小学校関係者の皆さんが不安に感じておられる、通学手段やカリキュラム等について具体的な検討を進めていく中で、今後も必要に応じて、こうした意見交換会を開催し、検討状況をお示ししていきたいと考えている。

【議事1：湯来地域における小中一貫教育校に係る基本構想について】

○ 構成員

令和6年度、専門の事業者に依頼して基本計画を作っていくということだが、子どもたちが学びたくなるような環境づくりに向けて、ハード整備が重要になると考えている。そこで、基本計画の作成に関する事業者の選定について、プロポーザル形式で行うことを検討してほしい。令和3年度に、総務省や文部科学省も、学校施設の設計等にプロポーザルを導入することを推奨する通知を出していたと思う。学校づくりに長けた建築家に計画・設計をお願いしたい。

※ 教育委員会教育企画課

令和6年度に作成する基本計画については、開校までの全体スケジュール等を踏まえ、一般競争入札により事業者の選定を行うこととしている。

令和7年度以降に、次の段階の基本設計・実施設計といった詳細な設計を行うこととなるが、その際には、現時点で確約はできないものの、プロポーザルによる事業者の選定も選択肢に含めて検討したい。

○ 構成員

基本計画の内容はどのようなものになるか。基本計画では整備する部屋を決める程度で、次の段階の基本設計等でプロポーザルによって選定された事業者の詳細な設計をしてもらえる余地があると捉えてよいか。

※ 教育委員会教育企画課

基本計画では、整備する部屋やそのレイアウト、あるいは湯来体育館前のスペースに校舎をどのように配置するかといったことについて、一定程度は検討することになると考えている。

○ 構成員

そうした部分を基本計画で決めてしまった後に、基本設計についてプロポーザルしてもあまり意味がないのではないかと思う。基本計画の段階からプロポーザルを行う方が望ましいと思うがどうか。

※ 教育委員会教育企画課

基本計画の内容について、皆様に提示する前に全て決めてしまうということは考えていない。今年の秋頃を目途に、事業者から案を一旦提出してもらおうこととしているが、その案は一つではなく、複数のパターンを出してもらおうよう考えている。その複数のパターンについて、皆様に提示し、その際に出していただいた意見を踏まえて、年度末に向けて基本計画を完成させていくという流れで進めていくことを考えている。

○ 構成員

その複数のパターンを考える事業者をプロポーザルで選定することが望ましいと考えている。

一般競争入札にすると、これまで広島市で学校を作ったことがあるような事業者が受注し、今の広島市の学校と変わらないような学校ができてしまうことが想定される。

※ 教育委員会教育企画課

本市としても、地域の皆様による主体的な検討を踏まえて新築する湯来地域の小中一貫教育校について、いわゆる一般的な学校とは異なるものになりたいという思いがある。

一方で、開校に向けたスケジュール等の制約がある中で、基本計画の事業者をプロポーザルで選定することは現時点で考えていないが、現在、発注に向けた仕様書を作成する中で、先ほどの説明にもあったように、本市において前例のないような部屋の整備を行うことや、魅力的なデザインとすること等を盛り込むこととしている。

● 座長

基本計画について、秋頃に事業者が作成した案を地域に示してもらえるとのことだが、地域から出た意見によって、内容を修正してもらう余地はあるか。

※ 教育委員会教育企画課

法令等の制限があることから、全て採用するという事は難しいと思うが、採用可能なものは基本計画に反映できるよう検討する。

また、一般競争入札で事業者を選定するに当たっては、最低落札価格を設定するなど、落札する事業者の質が一定程度担保されるような条件付けを行うこととしている。

○ 構成員

例えば、一般競争入札で事業者を選定する際に地域関係者が関わったり、仕様書の内容について地域からの意見を聴取したりなど、基本計画の案を作成する前の段階で地域としての意見を反映する機会を確保してほしい。

※ 教育委員会教育企画課

そうした機会を確保する余地があるかどうか、この場ではお答えできかねるが、どのような手法が考えられるかということも含め、持ち帰って検討する。

○ 構成員

落札事業者の質を担保するために条件付けをするということだが、入札条件の設定時には、市内事業者のみに制限するのではなく、他都市の事業者にも間口を広げ、質の高い事業者が入札できるようにしてほしい。

※ 教育委員会教育企画課

市内事業者に限るという条件は付さない予定としている。

○ 構成員

基本構想についての説明の中で、小中一貫教育校の給食はセンターからの配送を予定しているとのことだった。これまでの会議でも自校給食を希望する意見は多かったが、実現する見込みはあるか。

※ 教育委員会教育企画課

皆様から自校給食を希望する旨の意見が出ていることは認識しており、給食を所管する部署とも協議している。その上で、本市全体の方針として、将来的には全ての小・中学校の給食提供体制をセンター方式に移行することとしていることから、湯来地域の小中一貫教育校だけを例外的に自校調理とすることは難しい旨、御理解いただきたい。

○ 構成員

これまでの会議で、湯来体育館の場所に学校を設置するのであれば、砂谷地区から徒歩で通学する児童生徒の負担軽減・安全確保を検討してほしいという意見が出ていたと思うが、基本構想には通学路の整備に関する内容が記載されていないように見える。

※ 教育委員会教育企画課

基本構想は、学校そのものの施設整備等についての方向性を整理したもので、通学路の整備については盛り込んでいない。

通学路の整備については、後ほど説明する開校準備会議における検討項目に「通学について」とあるが、その部会において、通学手段と併せて検討することとしている。

○ 構成員

給食について、戸山小中一貫教育校を見学した際、同校は自校式給食だったと思うがどうか。

※ 教育委員会教育企画課

センター方式で提供している（※正しくは、現在は自校式給食だが、将来的にはセンター方式に移行する方針としている）。

○ 構成員

自分たちで育てた野菜を自校で調理して給食で出すなど、子どもたちに食の体験をさせてあげられればよいと思う。

湯来地域ならではの特色ある学校を作っていこうとしている中で、予算等の制限があるとしても、例外的に自校調理にするような特別視はできないというようなことがこれから頻繁に出てきてしまうと、広島市にこれまでにない魅力的な学校にしていけるのかと不安を感じる。

難しい部分もあると思うが、実現できるような方向性はあるかという視点で一緒に考えてほしい。

○ 構成員

基本構想のスケジュールを見ると、開校まで6年とのことだが、例えば、これを5年に短縮する余地はあるか。

※ 教育委員会教育企画課

理論上、短縮する余地が全くないわけではないが、近年の資材や作業員の不足、また、建築業界の週休二日制の導入等を考えると、本市としてもできるだけ早く開校したいという意向はあるものの、現実的に想定されるスケジュールとして6年間をお示ししている。

○ 構成員

工期を短縮できたとしても質の低いものができてしまったのでは意味がないため、時間がかかったとしても質の高いものを作ってもらった方がよいと思う。

また、基本構想には、これまでの協議で出た意見を整理して盛り込まれているが、湯来地域の小中一貫教育校が一般的な学校とどういった部分が異なるのかということが、ひとことで表現されていない。そうした点についても、今後しっかりと議論していきたい。

● 座長

色々な御意見をいただいたが、今後、取組を進める中で検討できるものであり、基本構想の内容を修正する必要があるものではないと認識している。他に意見等がなければ、この案のとおり取組を進めていくこととしたいがどうか。

【発言等なし】

● 座長

それでは、この基本構想の方向性に基づいて、来年度以降、小中一貫教育校の開校に向けた具体的な取組の検討を、地域と市が一緒になって進めていくことになるので、よろしくお願いする。

【議事2：小中一貫教育校の開校に向けた今後の取組について】

○ 構成員

開校準備会議の部会の検討項目に「学校の施設整備に関すること」とあるが、ここで、先ほど議論したような基本計画の内容等について意見交換等を行うということによいか。

※ 教育委員会教育企画課

そのとおりである。

○ 構成員

全体会が概ね年間3回開催されるとのことだが、全体会は、部会の議論で決定した内容について情報共有を行うものという理解によいか。例えば、部会で決定した方針について、全体会の議論の中で変更されてしまうようなことは想定されるか。開校準備会議の意思決定の構造について教えてほしい。

また、会議の運営について、例えば、Slack等のコミュニケーションツールを活用してオンラインで常時情報共有ができるようになれば、情報共有のみを目的とした会議の開催は不要となると思う。こうしたツールの導入にはハードルがあるかもしれないが、検討をお願いしたい。

※ 教育委員会教育企画課

基本的には、部会における議論で各項目の方向性を決定し、全体会において情報共有を図るという流れを考えているが、内容によっては、全体会で意見調整を行う必要がある項目も出てくるものと考えている。各部会には、これまでの検討会議等に出席していた行政関係者に限らず、検討項目に関わりのある市や教育委員会の関係課も参加することになると考えている。

また、会議のオンライン化について、構成員の負担軽減にもつながると思われるため、どのような手法が考えられるのか検討したい。

○ 構成員

開校準備会議について、学校運営協議会の委員を中心とし、各校の校長も加わっているが、メンバー構成の考え方を変えた意図を教えてください。また、実際には、現在の構成員が再度選任されることを想定しているのか教えてください。

※ 教育委員会教育企画課

来年度以降は、より具体的な検討を行う必要があり、また、現在の各小・中学校での取組を引き継ぐなど、各校との密接な連携が必要になる。そのため、現在のように各町内会や各校PTAといった団体から人選するのではなく、各小・中学校の学校運営協議会から人選していただき、それに加えて各校長や未就学児の保護者に参加していただくこととしている。

メンバー構成の考え方は先述のとおりだが、実際には、議論の継続性等も踏まえ、現在の構成員の皆様に参加していただけるとありがたいと考えている。

また、部会について、協議する内容によっては、正式な構成員でないとしても、オブザーバーとしての参加をお願いする方も出てくると想定している。

○ 構成員

既存の構成員の再選を妨げるものではないことを理解した。

一方で、現在の資料の表現では、学校運営協議会が前面に出ており、地域関係者を排除しているようにも読めてしまうので、その点は配慮をお願いしたい。

※ 教育委員会教育企画課

そうした意図はないため、資料の表現について検討する。

○ 構成員

今後、様々な項目について部会において検討を進めていくことになるが、その議論に一貫性を持たせることができるよう、関連する項目は取りまとめて同じ部会で議論する必要があると思う。また、部会ごとの検討状況についても、全体で調整しながら運営を進めていくような枠組みづくりが必要だと思う。

※ 教育委員会教育企画課

本市としても、資料にある検討項目ごとに一つの部会を立ち上げることは想定しておらず、例えば、校名と校章・校歌等、関連のあるものは一緒に検討した方が議論に一貫性を持たせられると考えている。御意見を踏まえ、全体の進め方を検討する。

● 座長

その他、意見等はあるだろうか。

【発言等なし】

● 座長

それでは、教育委員会から説明のあったとおり、来年度以降、小中一貫教育校の開校に向けた準備を進めていくこととなるので、よろしく願います。

この準備会議について、教育委員会としては来年度以降、具体的にはどのように進めようとしているか。

※ 教育委員会教育企画課

来年度の検討の進め方について、まずは各小・中学校の校長先生を通じて、学校運営協議会等に対する人選依頼を行いたいと考えている。

開校準備会議の構成員の決定後、夏ごろまでに第1回の全体会議を開催し、その後、各部会に分かれて検討を進めていきたいと考えている。

設置検討会議としては、本日が最終回となるが、構成員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、また、遅い時間の開催にも関わらず毎回の会議に御参加いただいたことに感謝申し上げます。

来年度以降も、開校準備会議を通じ、保護者や地域の皆様と意見を交わしながら、子どもたちにとってより良い教育環境や湯来地域全体の活性化につながるような、魅力的な小中一貫教育校づくりを進めていきたいと考えているので、引き続き御協力をお願いする。

(以上)